

NEWS RELEASE

2026.10.14

**社会環境の変化を踏まえ、より快適で開放的な車内空間へ
全車両の中吊広告の掲出を終了します****～紙資源や印刷資材の削減による環境負荷の低減にも寄与～**

阪急電鉄では、2027年4月4日（日）の営業終了をもって、阪急電鉄全線の営業車両（他社からの乗り入れ車両を除く）における中吊広告の掲出を終了します。

中吊広告は長年にわたり、商品やサービス、イベント、沿線情報等のさまざまな情報をお客様にお届けする媒体としての役割を果たしてきました。一方で近年は、スマートフォンやデジタルメディアの普及により、お客様が情報を取得する手段やコミュニケーションのあり方が大きく変化しています。また、車内での過ごし方も多様化しており、より落ち着いた移動空間でお過ごしになりたいとの期待も高まっています。

こうした変化を踏まえ、当社では中吊広告の掲出を終了し、車内の見通しや開放感を高めることで、お客様により快適で心地よくご利用いただける車内空間の実現を目指します。

また、当社では、CO₂の排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル運行」をはじめ、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化の推進など、環境負荷低減に向けた取組を進めています。今回の取組により、中吊広告の制作に使用される紙資源や印刷資材の削減*が見込まれ、環境負荷のさらなる低減にもつながります。

※2025年度の実績をもとに試算すると、年間約83万枚の中吊広告に相当する紙資源の使用削減が見込まれます。

当社は今後も、お客様に選ばれる快適で質の高い鉄道サービスの提供と環境負荷の低減の両立を図りながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ ほか